

# Green Innovator Academy とは

Green Innovator Academyとは2030年までに経済と環境の好循環を生むイノベーターを1,000人育成するプロジェクトです。産学官の連携により、グリーンイノベーションへの関心を高め、優秀で熱意ある人材の発掘と育成に取り組むもので、未来を自らより良く変えようとする国内外より選抜された学生および企業社員や官公庁の官僚、自治体職員など約140名が講義やフィールドワークなど、半年間にわたって受講する、イノベーター育成プログラムです。2023年7月に開講した第3期では、パートナーとして鯖江市も参画し、社会人コースへの地域おこし協力隊員1名の参加派遣や、学生コースでの政策提言のためのフィールドワーク等プログラム受け入れを行いました。このAcademy卒業生4名が2023年11月から2024年3月の間、鯖江市内にて地域おこし協力隊インターンとして活動しました。

## 最終報告会を実施しました



2024年2月26日、鯖江市役所でGreen Innovator Academy 3期生による政策提言と、鯖江市地域おこし協力隊インターン4名の活動報告会を行いました。

市長をはじめ約30人の市役所の職員の方、エコネットさばえ関係者の方々にお越しいただき、意見交換を行いました。



### エコネットさばえ通信☆あとかき

【編集後記】 昨年より縁あってGIA（グリーン・イノベーター・アカデミー）そしてそこに集う学生さんたちが実際に鯖江に長期間滞在し「鯖江のごみ」そしてその減量化をテーマに多角的方面からリサーチ・研究考察し、色々な提言をしてくださいました。これを一歩一歩実現していけるようにしていきたいところです。

編集委員：エコプラザさばえ広報部

鯖江市環境教育支援センター  
eco NET SABAE  
エコネットさばえ  
Sabae Environmental Learning Support Center  
(認定 NPO)  
指定管理者：特定非営利活動法人エコプラザさばえ  
エコネットさばえ通信 No.43 2024.3

〒916-0033 鯖江市中野町第 73 号 11 番地  
(中河小学校北西側)  
(0778) 52-0050  
(0778) 52-0909  
econet@ecoplaza-sabae.jp  
http://ecoplaza-sabae.jp/econet/



環境保全を担う人づくり 鯖江の未来を探しに行こう! 2024

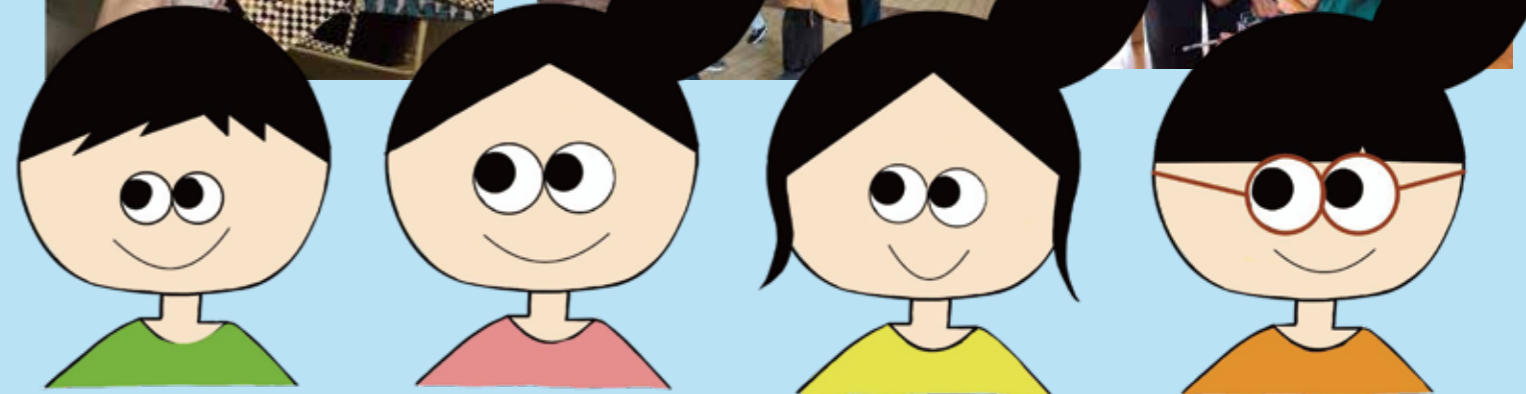
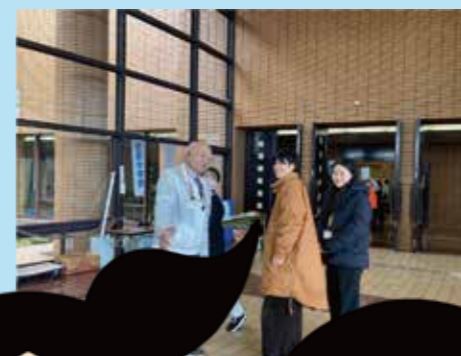
# エコネットさばえ通信 No.43

## 特別号



## 地域おこし協力隊インターン編

2023年11月から 2024年3月まで4人の活動記録



# 私たち鯖江市地域おこし協力隊インターンです！

私たちは Green Innovator Academy の卒業生で、現在関東の大学生、大学院生です。昨年、鯖江市は Green Innovator Academy 3期においてパートナー自治体となり、学生の政策提言をサポートしてくださいました。

政策提言では、「家庭由来のごみの減量」と「ものづくりさばえのサーキュラーエコノミー」の2つがテーマとしてあがりました。

地域おこし協力隊インターン期間中では、さらに鯖江市のごみ減量に向けて大きく3つの課題に取り組みました。



山下剛史



## 家庭由来の生ごみ自家処理の促進

1ヶ月半をかけて家庭から出る生ごみの削減に向けた取り組みを行いました。

具体的には、鯖江市に住む約230人の方へアンケートを実施し、普段家庭から出る生ごみをどのように捨てているかの実態調査を行いました。

結果、生ごみを燃やすごみとして捨てている人は回答者の8割を占めていました。そして、その中の3割の方が生ごみ処理器の導入に前向きな意見を示していました。

実際に、生ごみを家庭で自家処理している方のお宅へ訪問し、生ごみ処理の視察とインタビューを行いました。

生ごみ処理器を利用しているほとんどの方が、利用してよかった点として、燃やすごみの重さと燃やすごみから出る臭いが軽減することを述べています。生ごみを自家処理することで環境にも自分にもメリットがあるのです！



竹中弥来



## スーパー等の事業所と連携したごみの削減

2月の1ヶ月間、鯖江市内の資源回収をしている店舗等を調べ、資源回収マップを作成しました。

具体的には、各店舗に訪問の予約を取り、現在の店頭回収の状況や事業所の廃棄物減量の取り組み等をヒアリングしました。予想していた以上にたくさんの市民の皆さんが資源の持ち込みをしていることがわかった反面、回収ルールを守らない方も一定数いらっしゃるようにでした。

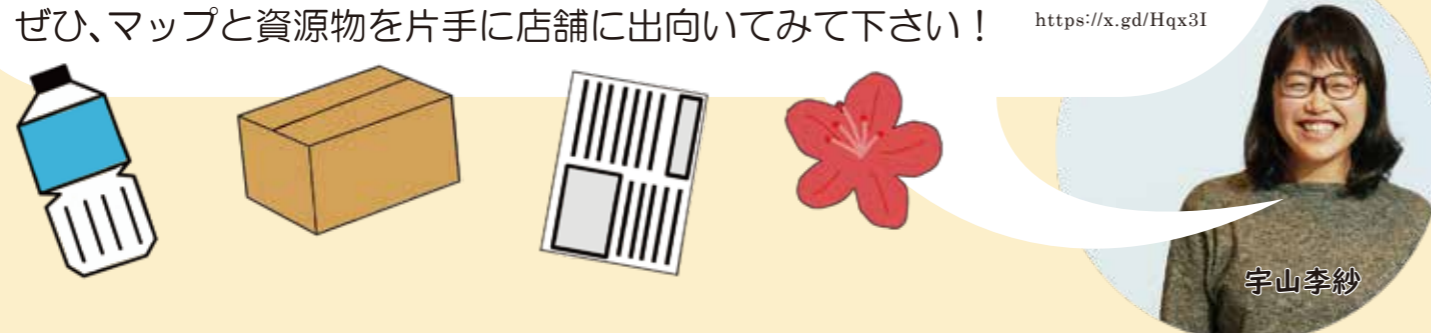
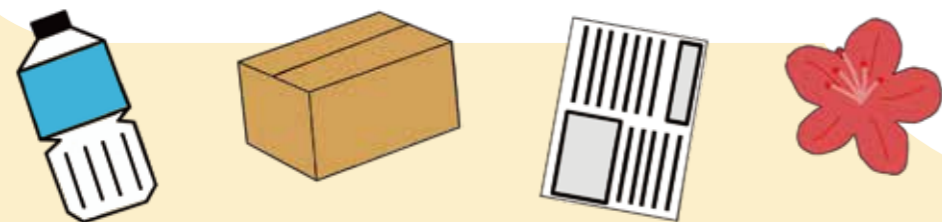
例えば、ペットボトルのラベルやキャップを外さないまま回収ボックスに入れる方、回収対象ではないビンや様々なものが入った家庭ごみを入れる方などです。

せっかく他の方々が分別し資源回収に協力してくださっても、ごみ箱のように扱われる方がいらっしゃると、その袋に入っていた資源はリサイクルできなくなります。ぜひ、回収ルールの徹底にご協力ください。

店舗のみなさんもかなり力を入れて取り組みをされており、意識の高い店舗を買い物等で支持していくことも大切です。マップは右記のQRコードより閲覧・ダウンロードできます。



<https://x.gd/Hqx3I>



宇山李紗

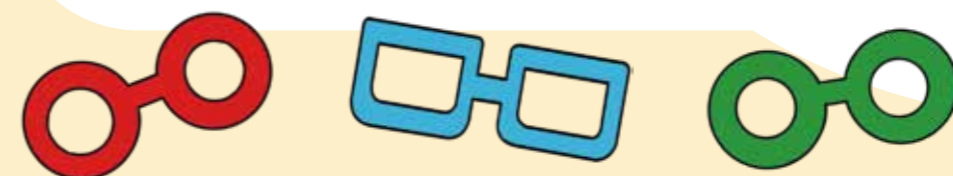
## ものづくりにおける廃棄物の見える化

鯖江市環境政策課、商工観光課と連携をとり、鯖江市内の眼鏡製造メーカー11社を訪問し「眼鏡の生産過程から出る廃棄物の実態調査」を行いました。

ものづくりが盛んな鯖江ですが、今まではものづくりから出る廃棄物量の統計データがなく、どれくらいのごみがどこから出ているのかが不明瞭、という現状がありました。

各眼鏡企業から得たデータをもとに、最終的に眼鏡産業から出る廃棄物データを資源プロフィールにして鯖江市に提出しました。

眼鏡産業から出る廃棄物をこれからは資源として活用することで、引き続き「ものづくりのまち鯖江」が廃棄物削減に取り組んで行く流れを作っていきたいです。



窪田夏菜美